

「ヒヤリ・ハット」体験事例

令和2年8月～令和3年7月

分類：収集運搬
事故の型：転落・転倒

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	荷下ろし作業中	廃棄物を下ろしている時に転落した。	足元の確認。

分類：収集運搬
事故の型：衝突・接触

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	一般道路	運転中	車が飛び出してきて接触しそうになった。	注意して運転する。
2	高速道路合流付近	10tトラックで運搬中	左レーンから一般車両が強引に割り込みをしてきて接触しそうになった。	「～するかもしれない。」運転を実施し、周囲の状況に合わせ、運転する。
3	一般道路交差点	運転中	左折しようとした時、原付を巻き込みそうになった。	確認の徹底。
4	取引先駐車場	廃棄物を収集しようと左折した時	後ろからトラックが入ってきたので接触しそうになった。	駐車場内でも指示器等を出してアピールする。
5	取引先現場	廃棄物回収中	団地内で子供が家からいきなり出てきた。	団地内走行時は最徐行する。
6	取引先現場	荷下ろし作業中	対向車と接触しそうになった。	個人、個人が気を付ける。
7	一般道路	収集運搬中	片側通行規制中の車線で停止中、後ろから軽トラックが追い越していったため、前方からきた車と衝突しそうになった。	交通ルールを無視して運転する車両がいる事を意識して、安全運転を継続する。
8	一般道路交差点	大型トラック運転中	交差点に進入した時、対向車線の乗用車が右折しようと飛び出してきて接触しそうになった。	この交差点は変則配置になっていたため、変則配置の交差点は対向車に注意する。

9	一般道路	10tコンテナ車運転中	前の車が急ブレーキを踏み、車間距離がとれていなかったので追突しそうになった。	余裕をもった車間距離をとる。
10	一般道路側道のある交差点	信号が青になったので発車しようとした時	側道の車が信号を無視して、本線に割り込んできたので接触しそうになった。	発車する時は周りを確認し一呼吸おいてから発車する。
11	取引先現場	廃棄物回収後、トラックを動かした時	後輪のタイヤ付近にあったパイプをふみ、破損した。	運転する際、付近の物等に注意して安全運転を心がける。
12	自社駐車場	駐車場から出る時	左から自転車が来ているのに気が付かなかったため接触しかけた。	左右確認をする。
13	取引先現場	廃棄物収集中	左側より高齢者が運転している軽自動車が目の前を猛スピードで直進して行ったため、急停止した。	高齢の運転手は、確認がおろそかになることがあるので特に注意する。
14	取引先現場	廃棄物収集中	車が出てきた。	確認を怠らない。
15	取引先現場	廃棄物収集中	トラックに積み込みをしている時、通学中の学生と衝突しそうになった。	常に周りをみながら行動する。
16	取引先現場	廃棄物収集中	ドアを開けたら車が来た。	周りをよく見る。

分類：収集運搬

事故の型：飛来・落下

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	一般道路	運転中	前の車から物が落下してあたりそうになった。	車間距離を十分に取りスピードを出さないようにする。危ない車の後ろは走行しない。
2	一般道路	収集運搬車両運転中	コンテナに被せてあったシートのゴムが切れ、中の荷物が飛びだしそうになった。	シートを被せる時にゴムが劣化していないか確認する。定期的にシートのゴムを交換する。予備のゴムを準備する。

3	取引先現場	廃棄物収集中	積んでいるゴミが落ちそうになった。	積み方を改善する。
4	取引先現場	廃棄物収集中	積んでいたコンテナが突風で飛び、目の前に散乱した。もう少しで当たる場所だった。	今まで以上に注意して走行する。
5	取引先現場	積込作業中	風で積み荷が飛んできた。	風が強い日は気を付ける。

分類：収集運搬

事故の型：挟まれ・巻き込まれ

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	取引先現場	一般ごみ集積場で作業中	ステーション小屋の金属製扉が強風で煽られ左手の指が扉に挟まれそうになった。	収集時は、風が吹いても閉まらないように小屋の扉を固定して収集する。
2	取引先現場	廃棄物収集中	回転板に引っかかっているゴミを取ろうとした時、手はさまれそうになった。	手を入れて作業する場合は回転板を止めて作業する。
3	工場内	フォークリフト運転中	フレコンバックの帯を作業員にかけてもらった時、すぐにフォークリフトのつめを上げてしまい、指を挟みかけた。	「OK」のサインを確認してから、フォークリフトのツメを上げる。

分類：収集運搬

事故の型：その他

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	取引先現場	ゴミ庫の前で停車していた時	車が自走しかけたのでサイドブレーキを引き直した。	サイドブレーキの確認、ギア入れをする。
2	取引先現場	瓶の回収作業中	回収ボックス周辺に割れた瓶の破片が散乱していたので素手で拾っていたら左手の手のひらに破片が刺さった。	素手で拾わず手袋を着用し、ほうきとチリトリで取るようにする。

3	一般道路交差点	赤信号で停車中	前車両が発車して交差点内に進入したので自車も発車しようとしたら車両用の信号が赤だと気づき停車した。(前車は歩行者用の信号が青のため車両用信号も同様だと勘違いして発車)	前車両や周辺の車両が発車しても信号や歩行者・自転車等を十分に確認して発車する。
4	取引先現場	廃棄物収集中	ゴミが破裂した。	大量に積み込まない。

分類 : 中間処理
事故の型 : 転落・転倒

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	場内移動中	鉄板の段差でつまずき転倒しそうになった。	鉄板の段差を無くす。
2	工場内	バックホーで混合廃棄物選別中	廃棄物搬入トラックが入ってきたのでバックホーから降りて誘導しようとした時、足を滑らせ転倒しそうになった。	慌てず、焦らず三点支持で、昇降する。
3	工場内	埋立プラ破碎時	コンベヤローラーにロープが巻き付いたのでペンチでロープをつかみ取ろうとした時、ロープがちぎれその反動で体のバランスを失いコンベヤ稼働中に転倒しそうになった。	コンベヤ稼働中に絶対手を出さない。必ず非常停止ボタンを押して停止したのを確認してから作業する。
4	工場内	圧縮梱包機で次の圧縮の準備をしている時	段ボールを持ったまま、ベルトコンベヤをまたごうとした為、足元が見えず、転倒しそうになった。	ベルトコンベヤの反対側に移動する時はコンベヤをまたがない。安全な通路を通る。日々の慣れがそういう行動につながるのもう一度よく考える。
5	工場内	物置の配置替えを行うため玉掛作業をしている時	物置の上部に上がろうと脚立に足を掛けたらステップ部分が変形し、体勢を崩しかけた。	脚立のステップ部分が損傷し、変形止めの金具が緩くなっていた。使用前、使用後にチェックし、危なそうな脚立は廃棄する。修理、改造したものは使用しない。
6	工場内	ホイール式シャベルの要素の掃除作業中	足元にあったひもに足がとられて、転倒しそうになった。	足元を片付けてから作業する。
7	工場内	シートを外す時	引っ掛かったシートのゴムを外すため上に登った時、足を踏み外して落下しそうになった。	脚立等を使用して確実に足場を作る。

分類 : 中間処理
事故の型 : 衝突・接触

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	コンガラをパクラードで破碎中	給油しに来たローリーが後ろにいるのに気づかず、バックして衝突した。	バックするときは、目視をし、窓を開けて音の確認も行う。
2	工場内	商品確認中	確認に集中し、周囲の状況を把握できず、近づいてきた車両に接触しそうになった。	商品を確認する時は、周囲の状況を確認し、常に気を配る。車両の通らない荷下ろしヤードで行う。
3	工場内	バックホーで木材を選別中	旋回したら、合図もなくフォークリフトが通過してきて追突しそうになった。	旋回する時は、必ず周囲の確認をしてから旋回する。全体会議で、重機稼働時に重機付近をリフト通過や歩行する時は、重機オペに分かるように合図を行うように周知した。
4	工場内	荷台から重機でオイルフェンスを下ろそうとした時	オイルフェンスについていた金具が重機のガラスに当たりそうになった。	オイルフェンスは短くても20cm位の長さがあり、ほとんどの場合金属の重りとチェーンが付いてくるので荷下ろし時はハネないように注意する。
5	工場内	フォークリフト運転中	普段は建屋内は無人の為、後退中に、人がいるのに気付くのが遅れ接触しそうになった。	普段無人だからといってフォークリフトや大型重機を運転する時は安全確認を怠らない。
6	工場内	パワーショベル運転中	旋回中に足場に当たりそうになった。	いつもないものには気を付ける。
7	場内出入口付近	自動車運転中	場内から出ようとした時、左右を確認したが、右側から黒い車が走ってきているのに気付かなかった。	2度、3度確認してから走行する。カーブミラーを設置する。
8	工場内	フォークリフト運転中	集積中のプレス圧縮品の間より作業員が飛び出してきたので接触しそうになった。	ミラーの設置。フォークリフトの移動は低速で行う。徒歩移動時に飛び出さない。

分類 : 中間処理

事故の型 : 飛来・落下

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	フォークリフトで小型コンテナを運搬していた時	作業終了予定時間ギリギリだった為、雨が降っていたにも関わらず、いつもと同じスピードで右折したら遠心力で小型コンテナがフォークリフトの爪から外れた。	時間ギリギリでも雨が降っている、混雑している時等は、周囲の状況をよくみて、適切な行動を取る。
2	工場内	選別作業中	コンテナに入っている荷物を下ろす時、4段に積まれていたので、倒しそうになりヒヤツとした。	コンテナを積むのは3段までにする。

3	工場内	荷下ろし作業中	後ろのあおりを空ける時、あおりのロックが破損していたのであおりが落下した。足を引いていたため大事には至らなかった。	あおりのロックがかかっているか確認してから開ける。破損している場合は番線などで固定する。トラックの修理をする。
4	工場内	荷下ろし作業中	突風でナイロン袋が飛ばされ、道路まで飛んで行ってしまった。	車が走行していなかったため事故にはつながらなかったが、飛びそうなものにはおもしろししながら荷下ろしするよう心掛ける。
5	工場内	荷物を検収している時	横を通っている10tダンプが石をふんで、その石が飛んできた。	場内落下物の清掃、トラックが近くを通る時は注意徹底。
6	工場内	ユンボでマットレスを運搬中	掴んでいた複数のマットレスの内、1枚が落下し近くの作業員に当たりそうになった。	ユンボ稼働中は旋回範囲内立ち入り禁止措置。人の上を通さない。

分類：中間処理

事故の型：挟まれ・巻き込まれ

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	扉を開いた時	片方のストッパーをした後、もう片方のストッパーをするのが遅れたため、強風で扉が動き、挟まれそうになった。	扉を大きく開く際は必ず両側のストッパーで止める。

分類：中間処理

事故の型：その他

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	作業中	ハチの巣があった。	殺虫剤を常備する。
2	工場内	フレコンバックをショベルで吊った時	フレコンバックが重すぎて、ショベルが傾むき始めた。	吊り荷の重量を確認し、重量に応じた重機を使用する。

分類：その他

事故の型：衝突・接触

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	取引先現場	アスファルトフィニッシャーのスクリュー交換中	ホッパーが開き、接触しかけた。	オペレーターの安全確認の徹底。オペレーターと作業員がコミュニケーションを取る。